

科目	哲学特講 (A Special Lecture on Philosophy)		
担当教員	本田 敏雄		
対象学年等	電気電子工学専攻・2年・後期・選択・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	C3(100%)	JABEE基準1(1) (a),(b)
授業の概要と方針	デカルト以降の近代西洋哲学をドイツ観念論哲学(特にフィヒテ)を中心に詳論する。その中で、現代に受け継がれている問題、現代に蘇らせるべき問題を明らかにしていく。そこから振り返って、我々日本人の現代の生を論じる。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C3】 人類が営んできた哲学的営為の意味を理解する。		試験およびレポートで評価する。
2	【C3】 学問が役に立つのかどうかを問う自分の存在をまず問うことに眼を向ける生きるとはどういうことが、学問をするとはどういうことを各自問い直すことができるようになる。		試験およびレポートで評価する。
3	【C3】 超越論的哲学の原理を学び、それを理解する。		試験およびレポートで評価する。
4	【C3】 超越論的原理の歴史的展開を理解する。		デカルトからヘーゲルまでの超越論的視点の発展を理解できたかどうかを、試験またはレポートで評価する。
5	【C3】 日本の代表的哲学者の思考(東洋と西洋の出会い)を理解する。		西田幾多郎や鈴木大拙の哲学的立場を試験およびレポートで評価する。
6	【C3】 これからの自分の生き方を考える視点をつかむ。		試験およびレポートで評価する。
7			
8			
9			
10			
総合評価	試験70パーセント、レポート30パーセントで評価する。		
テキスト	「フィヒテ論攷」本田 敏雄(晃洋書房)		
参考書			
関連科目			
履修上の注意事項	5年選択科目哲学受講者には、そこで取り上げられていた人間論を発展させる内容となる。		

